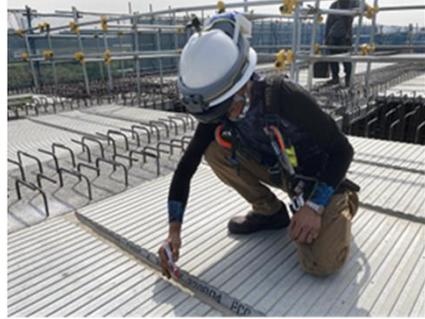


- 床版の施工に際し、**複合現実技術（以下、MR技術）**、**拡張現実技術（以下、AR技術）**を活用したものであり現場施工の省力化・効率化を図った今後の建設現場の施工管理のあり方を提案した取り組みである。
- 1) MR技術:床版配筋管理(配筋間隔マーキング)に関して、**41%の省力化と簡易化(経験不要)**が図れた。
- 2) AR技術:床版コンクリート施工(締固め管理)に関して、**50%の省人化と施工管理の見える化**が図れた。

【取組概要】

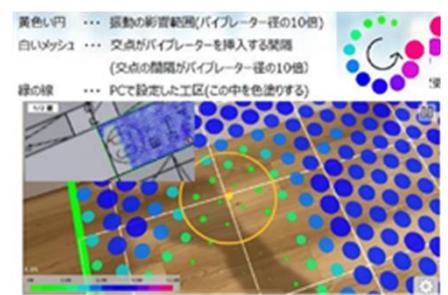
1) MR技術：床版配筋管理 1名による配筋位置のマーキング



2) AR技術：床版コンクリート施工

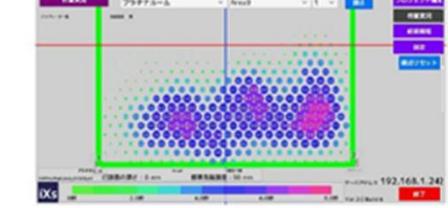


AR 締固め管理システム



作業者の手元の画面

iPhoneのデータが管理用PCに送られてくる。
PC1台につき3台までのiPhoneのデータを重畳することが可能。
iPhoneでお互いの作業状況を確認することも可能。

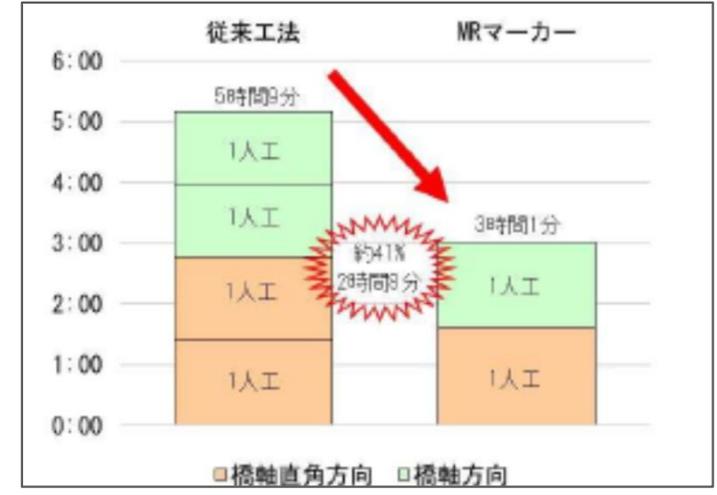


管理者の画面

【有効性】

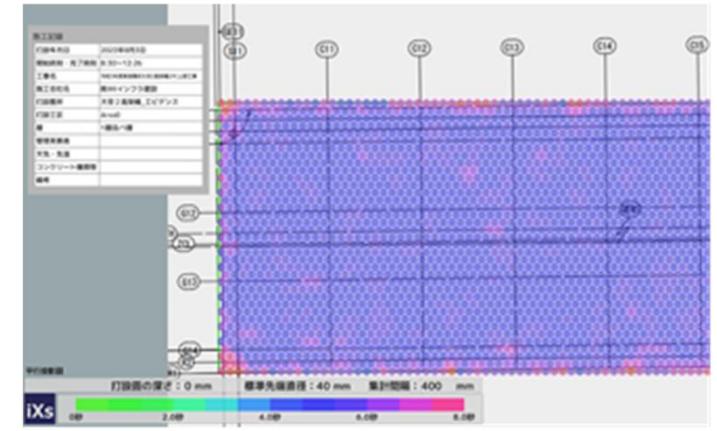
1) MR技術：床版配筋管理

『施工の省力化・簡易化』 誰でも配筋マーキングが可能(経験不要)



2) AR技術：床版コンクリート施工

『省人化・施工管理の見える化』 確実な施工と品質記録



『従来工法』
2名1組による
測定と配筋位置マーキング

